

令和第3期（令和6、7、8年度） 埼玉県環境アドバイザー募集要項

1 埼玉県環境アドバイザー登録制度の概要

(1) 制度の目的

地域における環境保全活動や環境学習等に関する中核的な活動者を埼玉県環境アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）として登録し、その活動等を広く紹介することで、県民の自主的な環境学習及び環境保全活動等の促進を図るものです。

(2) アドバイザーの職務

豊富な経験や知識を有し、地域での環境保全活動や環境学習等に対して指導及び助言を行うほか、地域で環境保全活動*を行う県民や団体等の連携を促進するなど、地域における環境保全活動を行っていただきます。

※活動の有償・無償は問いません。謝金の受領については、アドバイザーと依頼者との調整に委ねます。

(3) 環境アドバイザーが実施する活動の公表

県は、アドバイザーが実施する環境学習の活動について、県内での周知のために、情報を公表します。

アドバイザーには、県が行なう公表に協力していただきます。

2 任 期

3年間以内（令和6年4月1日以降の登録された日から令和9年3月31日まで）

※3年ごとに更新の手続有り

※なお、令和9年1月から3月までの新規登録者は令和9年4月1日をもって更新されたものとみなし、令和9年3月31日までの登録期間を令和12年3月31日まで延長する。

3 応募要件

以下の（1）から（3）の全ての事項を満たし、かつ（4）から（7）のいずれかの事項を満たす方。

(1) 年齢

申込日現在18歳以上であること（ただし、高校生を除く）。

(2) 所在

県内又は近隣都県に、居住又は勤務していること。

(3) 健康

心身ともに健康で、アドバイザーとしての活動に支障がないこと。

(4) 次に示すいずれかの資格又は経歴を有すること。

ア 国の環境カウンセラー（事業者部門、市民部門）である。

イ 公害防止や環境管理に関する部門に5年以上所属する。

ウ 環境問題を専門とする教職経験を5年以上有する。

エ 公害防止管理者、技術士、環境マネジメントシステム審査員、エコアクション21審査人又は放射線取扱主任者として環境保全に関する経験を5年以上有する。

オ 環境学習講座や自然観察会等の講師など、地域の環境保全活動の指導者としての

経験を5年以上有する。

- (5) 環境学習講座や自然観察会等の講師など、地域の環境保全活動の指導者としての経験を3年以上有した上で、次に示す資格を有すること。
- ア 彩の国環境大学実践課程の修了生
 - イ 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第11条第1項の「人材認定等事業登録制度」に登録されている事業により認定を受けた資格
 - ウ 自然観察指導員
 - エ 生態系保護指導員2級以上
 - オ 家庭の省エネエキスパート
- (6) 環境学習講座や自然観察会等の講師など、地域の環境保全活動の指導者としての経験を3年以上有した上で、次に示す者の推薦を有すること。
- ア 県、市町村、学校教育法に基づく埼玉県内の学校(幼稚園を除く)
 - イ 現任のアドバイザー(2名以上)
- (7) (4) から (6) に定めるものと同様以上の知識及び経験を有していると認められること。

4 応募方法

(1) 提出書類

- ア 埼玉県環境アドバイザー応募申込書(様式第1号)
- イ 免許・資格・経歴の確認書(別紙1、2)
※応募要件に該当する免許証、資格証の写し、経歴が確認できる資料等を添付すること
※上記「3 応募要件」のうち、「(4)イ、ウ、エ」に該当し、経歴が確認できる資料がない場合は、実務証明(別紙4)又は推薦書(別紙5)を提出すること
- ウ 環境アドバイザーとしての抱負、自己PR、環境問題についての考え方(別紙3)
- エ 写真(上記アの応募申込書に貼付。裏面に氏名を明記すること)

(2) 提出方法

- ア 郵送(各応募締切り日の消印有効)又は県庁環境政策課まで持参。
- イ メール送信も可。その際、受信確認をメールで返信するので、必ず確認すること。

(3) 提出・問合せ先

埼玉県環境部環境政策課 企画調整・環境影響評価担当
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話: 048-830-3019 E-mail a3010-06@pref.saitama.lg.jp

5 審査方法

(1) 書面確認

上記「3 応募要件」を満たしているか確認します。

(2) 面接審査

環境アドバイザーとしての適性について、総合的に審査します。

6 審査結果

- (1) 応募者全員に書面確認結果及び面接審査の日程を通知します（原則として面接審査日程の変更はできません）。
- (2) 面接審査対象者全員に最終審査結果を通知します。

7 応募から登録までの流れ（応募期限）

環境アドバイザーになるためには、提出書類による書面確認を経て面接審査に合格することが必要です。

令和6、7、8年度とも原則として下記スケジュールで実施します。

	応募期間					
	4、5月 応募者	6、7月 応募者	8、9月 応募者	10、11月 応募者	12、1月 応募者	2、3月 応募者
応募締切日	5月末日	7月末日	9月末日	11月末日	1月末日	3月末日
書面確認結果 及び面接日程 通知	応募締切日の翌月中旬					
面接審査	応募締切日の翌月下旬					
結果通知	面接審査の翌月中旬					
登録（目安）	面接審査の翌月下旬					

※なお、応募状況等によりスケジュールが変更する場合があります。

8 留意事項

- (1) 登録期間中に制度の運用が見直される場合があります。
- (2) **審査の結果、環境アドバイザーとして登録されることになった方は、県ホームページで公表等させていただく「環境アドバイザー活動紹介個票」を御提出いただく必要がありますので、あらかじめ御了承ください。**
- (3) 環境アドバイザーとして登録された方の連絡先情報（電話番号・FAX番号・メールアドレス等）は、依頼を希望する県民の方にお伝えしますので、あらかじめ御了承ください。
- (4) 環境アドバイザーに登録したことにより活動の場を保証するものではありません。
- (5) 応募に関わる提出書類は、返却しません。
- (6) 応募に関わる提出書類に記載された個人情報、審査、連絡等の登録手続のために利用します。なお、県は、個人情報を利用目的以外に使用しません。
- (7) 応募は同一年度中に1回限りとします。ただし、応募時に応募要件を満たさなかった方が後日応募要件を満たした場合は、この限りではありません。
- (8) 審査結果及び合否の理由に関する問い合わせにはお答えできません。
- (9) 環境アドバイザー登録要綱第11条に基づき、毎年度、活動回数及び参加人数などを県に報告してください。

埼玉県環境アドバイザー応募申込書

申込日 令和 年 月 日

(宛先)
埼玉県知事

写真貼付欄

私は、以下のとおり埼玉県環境アドバイザーに応募します。
なお、以下の記載内容は事実と相違ありません。上半身・脱帽・背景なしで申込日以前3か月以内に撮影したもの。
白黒・カラーいずれも可。

ふりがな 氏名			
生年月日 (申込日現在の年齢)	年 月 日生 (満 才)	性別	男・女
住所等	〒 ー 電話番号 FAX e-mail		
健康状態			
勤務先	名称 役職 〒 ー 電話番号 FAX		
所属団体 (団体に所属して活動を行っている場合に記入してください)	名称 役職		
主な環境保全活動歴の概要 (詳しい活動内容は別紙1に記入してください)			
専門分野 (御自身の専門分野の□にチェックを入れてください。)	<input type="checkbox"/> 自然への愛着 <input type="checkbox"/> 生態系・生物多様性 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 川の再生活動 <input type="checkbox"/> 大気 <input type="checkbox"/> 地質 <input type="checkbox"/> 公害・化学物質 <input type="checkbox"/> 3R <input type="checkbox"/> 資源・エネルギー <input type="checkbox"/> 地球温暖化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> 消費生活・衣食住 <input type="checkbox"/> SDGs		

免許・資格・経歴の確認書

募集要項「3 応募要件（4）～（7）」に掲げる資格・経歴のうちいずれか1つについて、該当する「資格・経歴」欄の□にチェックを入れ、内容を記入してください。また、資格免許証等の写しや、経歴や活動が確認できる資料を添付してください。

応募要件（4）

	資格・経歴	内 容
□	ア 国の環境カウンセラー(事業者部門、市民部門)	【部 門 名】 : 【取得年月】 :
□	イ 公害防止や環境管理に関する部門に5年以上所属（見込み）	【所属年数】 :
□	ウ 環境問題を専門とする教職経験を5年以上有する（見込み）	【勤続年数】 :
□	エ 公害防止管理者、技術士、環境マネジメントシステム審査員、エコアクション21審査人又は放射線取扱主任者としての経験を5年以上有する（見込み）	【資 格 名】 : 【取得年月】 : 【経験年数】 :
□	オ 環境学習講座や自然観察会等の講師など、地域の環境保全活動に指導者としての経験を5年以上有する（見込み）	【経験年数】 : ※詳細を別紙2に記載すること

※イ、ウ、エに該当する方で、経歴を確認できる資料がない場合は、実務経験証明書（別紙4）又は推薦書（別紙5）を提出してください。

応募要件（5）

□ ※必須	環境学習講座や自然観察会等の講師など、地域の環境保全活動の指導者としての経験を3年以上有している。	【経験年数】 : ※詳細を別紙2に記載すること
----------	---	----------------------------

上記に加え、以下のいずれか。

□	ア 彩の国環境大学実践課程の修了生	【終了年月】 :
□	イ 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第11条第1項の「人材認定等事業登録制度」に登録されている事業により認定を受けた資格	【資 格 名】 : 【取得年月】 :
□	ウ 自然観察指導員	【取得年月】 :
□	エ 生態系保護指導員2級以上	【級 数】 : 【取得年月】 :
□	オ 家庭の省エネエキスパート	【取得年月】 :

応募要件（6）

<input type="checkbox"/> ※必須	環境学習講座や自然観察会等の講師など、地域の環境保全活動の指導者としての経験を3年以上有している。	【経験年数】： ※詳細を別紙2に記載すること
---------------------------------	---	-------------------------------

上記に加え、以下いずれかからの推薦者

<input type="checkbox"/>	ア 県、市町村、学校教育法に基づく県内の学校(幼稚園を除く)	【推薦者】 (氏名) (所属・役職)
<input type="checkbox"/>	イ 現任の環境アドバイザー(2名以上)	【推薦者1】 (氏名) 【推薦者2】 (氏名)

応募要件（7）

<input type="checkbox"/>	応募要件（4）～（6）と同等以上の知識及び経験を有していると認められるもの	【資格名】： 【取得年月】： ※詳細を別紙2に記載すること
--------------------------	---------------------------------------	---

別紙 2

環境保全活動歴等の詳細	氏 名
年 月 ～ 年 月	活動内容又は従事した業務内容

※別紙 1 記載以外の資格等の取得状況、委員等への就任、著書、受賞歴等もあれば、併せて記入してください。

別紙 3

氏 名	
-----	--

環境アドバイザーとしての抱負、自己PR、環境問題についての考え方などを自由にお書きください。

--

実務経験証明書

氏名			
生年月日	年 月 日 生		
住所	〒		
所属部・課 (役職名)	従事した業務内容 (具体的に記入してください)	従事期間	
		自年月 至年月	期間
		年月	年月
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>所在地</p> <p>名称 電話</p> <p>証明者 (代表者)</p>			

推 薦 書

氏 名			
所 属	従事した業務内容や活動 (具体的に記入してください)	従 事 期 間	
		自 年 月 至 年 月	期 間
		年 月	年 月
<p>上記活動を行ってきた応募者を環境アドバイザーに推薦します。</p> <p>■令和 年 月 日</p> <p>■推薦者氏名</p> <p>■推薦者と応募者との関係</p>			